

学校教育目標<元気あふれる学校>夢に向かって 笑顔で学び合う子どもの育成
<元気あふれる学校>は金泉中、金立小、久保泉小統一の「雄飛学園目標」です



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校
学校だよりNo.19
令和6年3月22日
校長 坂田 敏之

1年間ありがとうございました

本年度は新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日より5類になり、制限のない教育活動をようやく実施することができた約1年でした。これまで、いろいろな場面で活動や参観の制限をお願いしてきましたが、授業参観や、PTA活動等においては、内容を精選しながらも、以前のように子供たちの活動や体験の場を多く設定し、たくさんの保護者や地域の方をお招きし、地域と共にある学校を目指し取り組んで参りました。また、雄飛学園教育が目指す「出番」「役割」を設定し、子供のがんばりを「承認・称賛」して、子供の自己肯定感を高める「開発的かわり」によって子供のよさを伸ばすことにも職員が一丸となって取り組んできました。更に、学校運営協議会やまちづくり協議会所属の諸団体の皆様には、授業での子供たちへの支援や、地域へ出での活動の見守りにもお手伝いいただき、子供の学びの質の向上や場を広げることができました。感謝申し上げますと共に今後ともよろしく願いいたします。

能登半島地震復興支援のための募金活動

今年1月1日に発生した能登半島地震でたくさんの方が被災され、今なお不自由な生活を強いられ、生活物資に困られています。そこで、本校でも何かできなかと考え、募金活動を行いました。自主的に参加を募り集まった子供たちが始業前に昇降口前で募金活動を行いました。募金総額は、17,977円集まりました。ご家庭のご協力もあり多くの募金が集まり感謝しております。募金は佐賀市社会福祉協議会、日本赤十字社を通じ被災された方々へ届けられます。

【参加してくれたお友達】 2年：梅崎さん、川副さん、久保さん、3年：嘉村さん、高田さん、山本さん、4年：木下さん、嘉村さん、梅崎さん、千住さん、築地さん、中村さん、山口さん。



1～3年生と6年生とのお別れ式

3月14日3校時目に、卒業式に参加しない1～3年生と6年生がお別れ式を行いました。3年生は、開始5分前には整列して上学年への心構えがしっかりとできていました。これまでお世話になった6年生と今日でお別れしなければならない寂しさからか、1～3年生はやや緊張した面持ちで静かに姿勢良く座って待つことができていました。卒業式と同じ流れで6年生が入場してきました。お祝いの言葉では、3年生の松本さん、三瀬さんが代表として、これまで下学年がお世話になったことに対する感謝の気持ち



を伝えました。最後に一緒に大きな声で久保泉小学校の校歌を歌いました。在校生は6年生への感謝の気持ち、6年生は在校生へ、この素晴らしい久保泉小学校をしっかりと引き継いで欲しいという気持ちで、歌い合うことができました。本当に素晴らしい、お別れ式になりました。

第74回卒業証書授与式



3月15日(金)に約30名の来賓の皆様をお迎えし、第74回卒業証書授与式を執り行いました。卒業生が元気に笑顔で久保泉小学校を巣立っていきました。保護者や来賓の皆様が見守る中、厳粛な中にも温かい卒業式ができたと思います。私からは式辞の中で「感謝の気持ちを忘れない」、「小さい夢や習慣が大きな夢を実現させる」、「家族を大切に」という3つのことを伝えました。卒業生は一人一人がこれまでの小学6年間の思いを在校生へ呼びかけ、歌を歌い、すばらしい式になりました。

えひめあやめの観察

3月18日(月)に、4年生が昨年10月に植栽したえひめあやめの苗の成長の様子を観察に行きました。まだ植栽をして4、5ヶ月しか経っていないので他の草とあまり見分けがつかず、自分の苗を見つけることで精一杯でした。それでも、元気よく成長しているえひめあやめを観察することができました。この日はNHKの取材もあり、毎年4年生が総合的な学習の時間に取り組んできたことや、この学習を通して学んだことを伝えることができました。齊藤会長さんをはじめ保全会の方々、本当にありがとうございました。3月21日の朝に、4年生が作製したえひめあやめまつりの看板を会長さんにお渡ししました。



行事写真等は、学校ホームページにアップしていますので、ご覧ください。QRコード

